

夢があるから強くなる！ 夢の教室 開催



ユメセン
JFANこころプロジェクト
専先生

11月5日から9日にかけて、公益財団法人日本サッカー協会（JFA）が行う「夢の教室（ユメセン）」を、小学校の5年生と中学校2年生を対象に実施しました。

夢の教室では、夢を実現させてきたアスリートなどが「夢生」として教壇に立ち、自身が困難を乗り越えてきた経緯を語り、夢を持つ素晴らしさや努力を続ける大切さなどを伝えました。

本年度の先生と、子どもたちに贈られたメッセージをご紹介します。

11/5

『自分で決める、自分が変わる』

元プロサッカー選手

やまうち ゆういち
山内 祐一さん

清里小学校



熊本県出身。大津高校時代はキャプテンを務めた。2007年からロアッソ熊本、V・ファーレン長崎でFWとしてプレー、その後海外に拠点を移し活躍。現在は佐世保市でクラブチームのU-15の監督に就任。

夢をあきらめかけたとき、責任を環境のせいにしていたことに気づきました。人の言葉を聴き、自分で受け止めると、自分が変わり、環境が変わります。そしてそれをチャンスにするために、行動・挑戦してください。自分で決めてやったことは、失敗してもプラスになります。

11/7

六栄小学校
腹赤小学校

『目標を持てばがんばれる』

ふじおかな おこ
女子プロボクシング選手 **藤岡奈穂子**さん



宮城県出身。1999年にアマチュアボクシングを始め、翌年の全日本大会で新人王獲得。プロ転向後、4階級で世界チャンプとなり、2017年12月にライトフライ級王座。5階級制覇は男女通じ日本人初。



「お前の代わりはほかにない」と言われ、自信を失くした時がありました。オンリーワンの存在になりたくてボクシングを始め、初めて大会で優勝した時、自信とともに、周囲への感謝の気持ちが生まれました。目標に向かって好きなことを頑張れば、ゴールにたどり着けます。

11/8

長洲小学校

『好きなことを一生懸命』

元バスケットボール選手

おくだ ま お
岡田 麻央さん



愛知県出身。小学生からバスケットを始め、強豪校でキャプテンを務めた。2007年からプロとして日本女子リーグで活躍。2016年に現役を引退、モデルなどしながら女子バスケの普及活動を行う。



バスケットボールがうまくならない一心で、小学生の時から毎日厳しい練習を重ねてきました。好きなことに夢中になると上達して、さらに好きになります。怪我などつらいこともありましたが、プロとして活躍することができました。諦めずに目標を持って、努力をし続けてください。

11/6

長洲中学校

『何でも真剣に！』

元フットサル選手

ながもと だいすけ
長本 大将さん

サッカーが大好きだったけど、本気でしなかつた時期もあり、失敗も多くありました。夢ができて、「自分を変えよう」と何でも真剣に取り組むようになり、フットサル選手になることができました。真剣に努力すれば、やりたいことができるようになります。行動は今からでも始められます。



奈良県出身。2007年にFリーグのバルドラール浦安に加入、その後内外リーグでの活躍を経て指導者に転向。2015年にフットサル関連事業を展開する会社を設立した。

11/9

腹栄中学校

『やればできる、君も絶対できる』

元プロサッカー選手

とがわ けんた
戸川 健太さん



東京都出身。2004年に東京ヴェルディと契約、DFとしてチームに貢献。横浜FC→ガイナレレ鳥取→福島ユナイテッドFC→2016年引退後、選手会のアドバイザーや解説者として活動。



自分よりサッカーが上手い人はたくさんいました。でも勉強も頑張ったことで考える力がつき、自分の強みを生かせるようになりました。勉強やトレーニングなど、つらくて地味なことの中には必ずいいことがあります。環境は関係ありません。やれば絶対できます。